

●開催月日・場所等

月日	会場	対象地区	参加人数
3月26日(月)	総合文化センター	美国町	16名
3月29日(木)	野塚地区ふれあい交流館	野塚町	27名
4月9日(月)	余別地区コミュニティセンター	余別町	25名
4月10日(火)	神岬会館	神岬町	14名
	来岸会館	来岸・西河町	10名
4月11日(水)	日司生活改善センター	日司町	11名
4月12日(木)	婦美会館	婦美・丸山町	22名
4月16日(月)	入舸会館	入舸町	20名
4月17日(火)	幌武意老人寿の家	幌武意町	16名
8日間	9会場	11地区	161名

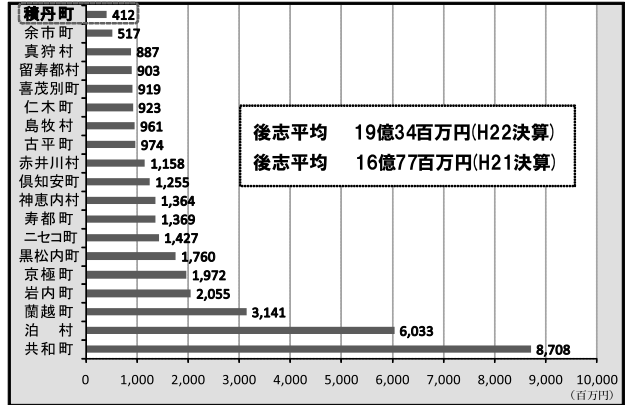
平成17年度末で10億4,600万円を有していた累積赤字が22年度で解消され、7年間の行財政改革の努力が実りました。

その一方で、赤字補てんのため取り崩した基金は、4億1,200万円と道内179市町村で最も少なく、他町村との大きな財政格差が生じました。

また、町の歳入の7割を占める約15〜16億円の地方

**累積赤字解消後の
財政課題**

後志管内町村基金積立金残高 (平成22年度決算:道公表)



町長室出前懇談会 を開催しました

9会場161人が参加

3月26日から4月17日まで町内9会場で平成24年「町長室出前懇談会」を開催し、延べ161人の町民の皆さんに参加いただきました。

懇談会では、松井町長が、『累積赤字解消後のまちづくりは、「健全財政の維持」と「公共・行政サービス水準の維持」、「地域の活性化」の3つの課題の克服を中心とした説明と意見交換を行いました。

今回の懇談会では、「町の財政状況」や「防災対策の状況」

服と両立に町ぐるみで努力していかねばなりません。毎年の町の台所の赤字と借金の違いを知って!』とあいさつし、まちづくりへの理解と協力を求めました。

今後の懇談会では、「町の財政状況」や「防災対策の状況」を中心とした説明と意見交換を行いました。

また、昨年から余別地区で先

交付税は、人件費や公債費などの義務的経費や広域組合負担金、特別会計への財源補てん等の繰出金に同額を超えて充てられるため、急がれる新たな津波防災対策などへの財政負担の増大は今後の難しい町の財政課題です。

**今後の防災対策
各集落で津波避難計画づくり**

町では、町内各地区の主な避難施設(会館など10カ所)や災害対策本部(役場庁舎)への防災資機材の配備を急いでいます。

～たくさんの質問・提言をいただきました～

●防災

- Q. 避難施設となる学校・会館・お寺の標高は。
- A. 避難所誘導標識のほか電柱などに標高表示の設置を予定しています。
- Q. IP電話は停電時に使用できるのか。
- A. IP電話は停電時には使用できません。屋外拡声器にはバッテリーがついており、3〜5時間は屋外拡声器からの情報伝達が可能です。
- Q. 津波の到達時間、川の遡上津波や浸水範囲などの想定は。
- A. 震災前に各家庭に配布したハザードマップ(津波浸水予測図)は、道の新たな津波浸水予測図が出来次第、見直しをする予定ですが、道の作成作業が遅れています。
- Q. 災害時は、ラジオが有効のだが受信状態が悪く民放が聞こえない。

- A. ラジオの電波は、それぞれの放送局で整備することとなっているため、積丹町だけで整備するのは非常に難しい状況です。トンネル内の改善と合わせて国や関係機関に働きかけています。

●財政

- Q. 赤字と借金の違い、連結赤字比率とは。
- A. 赤字とは、毎年度の会計の収支のバランスが崩れたお金のことです。借金とは、長期ローンを組んで、毎年、計画的に返済するお金です。借金(地方債)は、公共サービスのためには必要な投資であり、過疎債など地方交付税措置がある有利な借金を見つける姿勢が必要です。連結赤字比率は、一般会計と特別会計の全ての会計の黒字や赤字を合算し、町全体で赤字がどのくらいの比率になっているのかを見るものです。

行して実施してきた津波避難計画づくりを今年度から各集落で進める予定です。

この計画は、地域住民が主体となり、具体的な避難経路や避難場所など行政と一緒に検討し策定する避難計画です。非常時に円滑な避難行動ができるよう多くのの方の参加とご協力をお願いします。

※このほか、防災・財政以外にもさまざまな要望や意見をいただきました。皆さんからの貴重なご意見等は今後の行財政運営に役立ててまいります。

美国漁港 海岸環境整備事業・臨港道路事業

～5月11日(金)から供用開始!～

—『黄金大橋』と命名 (美小3年 西川亜依里さん)—

美国町小泊地区で進められてきた美国漁港海岸環境整備事業と美国漁港臨港道路事業の工事が完了し、5月11日(金)から供用開始されます。

平成5年度から北海道が進めてきた海岸環境整備事業(突堤437.3m、護岸257.2m)は、2月10日に完了し、突堤や護岸、駐車場のほかトイレなどが整備されました。

また、この事業に隣接して平成21年度より着工した美国漁港と国道229号を結ぶ、国の臨港道路事業(橋梁87.6m、道路改良347.52m)も一部護岸法面工事を除き3月26日に完了しました。

小樽開発建設部では、橋梁の完成に併せて町内の小学生に名前を募集。たくさんの応募の中から美国小学校3年生の西川亜依里さんが応募した「黄金大橋」と命名されました。



平成23年度に実施した事業は6事業(補助金総額318万8千円)、それぞれの実施団体が事業の内容や取り組み、今後の課題などについて報告しました。

旧入舸小学校で音楽イベントを開催した杉山容明さんは、「仕事が終わってからのミーティングや準備は大変でした。様々な課題はあるが、誰の目にも明らかな経済効果を伴う音楽祭にしたい。」と今後のまちおこしへの意気込みを発表しました。

～地域の活動を応援します!～

町では、今年度も「積丹町まちづくり活動支援基金」を活用して実施する事業を募集しており、第2次応募締切日は平成24年7月25日(水)です。

問い合わせやご相談は、役場企画課のほか、計画事業に関係する課や委員会で、随時受け付けていますのでご遠慮なくご相談ください。

役場企画課 ☎44-2114

まちづくり活動

6団体が事業成果を発表!

昨年町民の皆さんによる主体的・自主的なまちづくり活動を支援する「まちづくり活動支援補助金」を活用して行われた事業の報告会が3月26日、一般の方や事業関係者など20人が出席して総合文化センターで開かれました。

■平成23年度に実施された事業

(円)

実施事業名	実施団体	補助金額
1. 地域景観形成事業	美国商店連盟	489,000
2. 土産品開発事業	積丹観光協会	600,000
3. 積丹町美国フードフェスティバル2011	美国旅館組合	600,000
4. 岬の市場マーケティング向上事業	積丹町地場産品販売促進協議会	329,000
5. 積丹オープンLive Music Festival in irika	Music Festival in irika 実行委員会	600,000
6. 岬の湯しゃこたん冬の花火事業	積丹観光協会	570,000

平成24年 第3回積丹町議会臨時会 ■議会ニュース■

平成24年第3回積丹町議会臨時会が4月20日に招集され、同日閉会しました。

そのあらましについてお知らせします。

議案第1号

積丹町税条例の一部を改正する条例について

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律、同法関係政令及び省令の公布に伴い、町税条例の關係条文規定の整備を図るため、同条例の一部を改正するものです。

(原案可決)

議案第2号

積丹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法の改正に伴い、町国民健康保険税条例の關係条文規定の整備を図るため、同条例の一部を改正するものです。

(原案可決)